



新しく着任した医師のご紹介

この4月より青山病院にて勤務させていただきます、佐伯友樹と申します。専門は腎臓・透析内科ですので、主に透析室でお会いすることが多いと思っておりますが、常勤医として外来や病棟勤務もいたしますので、腎臓が悪い方以外も診察させていただきます。今までは広島市内や大竹の病院で勤務しており、呉に勤務するのは今回が初めてです。患者さん目線での診療を行っていきたくと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



新しく着任した医師のご紹介

この4月より青山病院で働かせていただくこととなりました板倉崇帆と申します。専門は腎臓内科であり、当院では主に透析に従事しております。呉で勤務するのは初めてであり、土地勘もなく少し不安はありましたが、それ以上に新鮮な気持ちで毎日診療にあたっております。不慣れなことも多くご迷惑をおかけしますが、少しでも患者さんに寄り添えるような医療を心がけてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。



竹酔日
五月と言えば新緑の季節ですが、情景として春風が新緑の竹林を吹き抜けてゆく様を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。
5月13日は「竹酔日（ちくすいび）」と呼ばれ、竹を移植するのによい日だとされており、中国の言い伝えによると、地下茎で繁殖し移植が難しいとされる竹がこの日は酒に酔い前不覚となつていて、何をされても気づかないため移植するのに最も適した日で、この日に移植された竹はその後よく繁茂するそうです。
さらに、竹に5月13日と書いた紙を吊るすだけでもよく繁茂すると言われており、全く科学的に信用ができませんが、もともと由来は古代中国「北魏」の頃に書かれた世界最古の農学専門書「齊民要術」にその記述があるとか、清代の「花傭月令」に記述された中国の俗説だとか、諸説あるようです。
またこの日はかぐや姫が月に帰った日とする説もあるようです。
竹酔日は別名「竹迷日」、「竹植うる日」ともい、俳句の夏の季語となつていて、松尾芭蕉は「笈日記」の中に「降らずとも竹植うる日は蓑と笠（蓑笠を着た姿は竹を植えるのにまことに似つかわしい。たとえ雨が降らずとも竹を植える日には蓑と笠を着て植えたいものだ）」という句を詠んでいます。
ところで、松尾芭蕉と言えば「奥の細道」が有名ですが、江戸を発ち奥州に旅立った日が5月16日だと言われています。その日に因んで5月16日は「旅の日」とされています。
月に帰る・奥州に立つ・奥の細道・旅の日・5月16日
連休と重なるせい
で5月か・旅の話題が多い様で・



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医

月曜日	午前：青山	午後：大村	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：大村	午後：宮里	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：佐伯	午後：原・板倉(腎臓内科)		午後：竹中(脳神経内科)	

土曜日 診療は午前のみ：宮里(第1) 佐伯(第2・第4) 大村(第3・第5)



季節の風景



つつじ